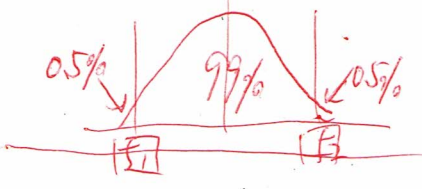
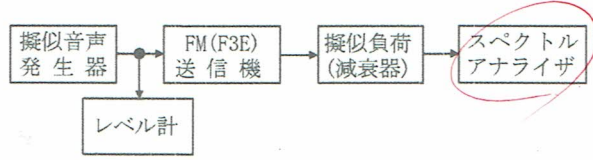


A - 24 次の記述は、図に示す構成例を用いた FM (F3E) 送信機の占有周波数帯幅の測定法について述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。なお、同じ記号の □ 内には、同じ字句が入るものとする。

- (1) 擬似音声発生器から規定の擬似音声信号を送信機に加え、所定の変調を行った周波数変調波を擬似負荷に出力する。スペクトルアナライザを所定の動作条件とし、規定の占有周波数帯幅 □ A □ の帯域を掃引し、所要の数のサンプル点で測定した各電力値の和から全電力を求める。
- (2) 測定する最低の周波数から高い周波数の方向に掃引して得たそれぞれの電力値を順次加算したとき、その電力が全電力の □ B □ [%] になる周波数 f_1 [Hz] を求める。
- (3) 次に、測定する最高の周波数から低い周波数の方向に掃引して得たそれぞれの電力値を順次加算したとき、その電力が全電力の □ B □ [%] になる周波数 f_2 [Hz] を求めると、占有周波数帯幅は □ C □ [Hz] となる。

A	B	C
1 の2~3.5倍程度	1.0	$f_2 - f_1$
2 の2~3.5倍程度	0.5	$f_2 - f_1$
3 の2~3.5倍程度	1.0	$f_1 + f_2$
4 と同程度	0.5	$f_1 + f_2$
5 と同程度	1.0	$f_1 + f_2$



占有周波数帯幅は全輻射電力の99%が含まれる

(HZ412-6)

$$f_2 - f_1$$